

みんなで地域づくり事業企画書

<p>団体名</p>	<p>よつかいどう和綿ばたけ</p>	
<p>事業名</p>	<p>和綿でつむぐあったかコミュニティ事業</p>	
<p>目的・必要性</p>	<p>暮らしになくてはならない衣食住の「衣」の部分である綿。江戸時代までは日本各地で栽培されていたが、今ではほとんどが輸入に頼っている。本来、和綿は保湿・弾力性に優れ暖かく、日本人の肌に合っており、和綿栽培も日本の風土に適している。</p> <p>畑で種から育てた和綿を収穫、紡ぎ・織りを体験することで、大地から生まれる和綿の魅力を伝え、忙しい日々の中に、あえて時間をかけるという古き良き日本の「愛すべき手間ひま」を学ぶ。</p> <p>また、和綿栽培や綿繰り・紡ぎなどの作業は老若男女問わず、障害がある人もない人も一緒に作業することができる活動であるため、多様な人が集い活動できるコミュニティの場を創出する。</p> <p>休耕地を和綿栽培に利用し、和綿の魅力を伝えていくことで、農業や和綿の良さを知るきっかけとする。</p>	
<p>内容</p>	<p>○週1回定例作業（木曜日午前中）</p> <p>5~12月 畑しごと（種まき、間引き、除草、摘心、収穫） 加工作業（雨天時）</p> <p>12~4月 加工作業（綿繰り、カーディング、紡ぎ等）</p> <p>○講演会（講師：八千代共生会） 「今、注目されている和綿」（仮題） 植え付けから収穫まで和綿の栽培法を紹介。和綿の魅力を伝え、興味関心を持ってもらい会員増加につなげていく。</p> <p>○糸紡ぎワークショップ（講師：八千代共生会） 「和綿の種類と利用法」（仮題） 実際の和綿の種類を紹介。種付きの綿から糸にするまでを講師の指導のもと体験。紡ぎ加工する手法を学ぶ。</p> <p>○学校支援（和良比小学校3年生の総合学習）</p> <p>○広報・情報発信…興味関心の層を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebookによる情報発信 ・チラシ配布 ・イベント出展（大きなテーブル、ちばユニバーサル農業フェスタ） 	
<p>スケジュール</p>	<p>時期</p>	<p>具体的な取組</p>
	<p>5月</p>	<p>講演会「今、注目されている和綿（仮）」 ＜種まき、除草＞</p>
	<p>6月</p>	<p>大きなテーブル出展 ＜土寄せ、間引き、除草＞</p>
	<p>7月</p>	<p>＜支柱立て、除草＞</p>
	<p>8月</p>	<p>＜摘心、除草＞</p>
	<p>10~12月</p>	<p>＜収穫＞</p>
	<p>11月</p>	<p>糸紡ぎワークショップ「和綿の種類と利用法（仮）」 ちばユニバーサル農業フェスタ出展</p>

様式第2号（第7条）

	12~4月	<綿繰り、紡ぎ>
	3月	畑の整備
役割分担の想定	(団体の役割) 和棉の栽培、加工 和棉の周知活動	
	(市の役割) 事業協力・広報協力・助言	
他団体との連携	NPO 法人千葉・草原のこころファーム（場所の提供）	
期待される成果	1.活動を通じて和棉の魅力の周知が図られる。 2.コミュニティの場を創出する。 3.耕作放棄地解消につながる。 4.四街道市の特産品につながる。 5.景観形成による市外からの来訪者が増える。 (目標) ・定例活動への参加者数 延 300 人 ・講演会 (40 人)、ワークショップ参加者数 (40 人) 80 人 ・小学校総合学習参加者数 90 人 ・耕作面積 約 500 m ²	

備考

- 1 「役割分担の想定」のうち（市の役割）は、事業形態がサポート型にあっては、役割がある場合に記載してください。
- 2 「期待される効果」は、数値等を記載してください。